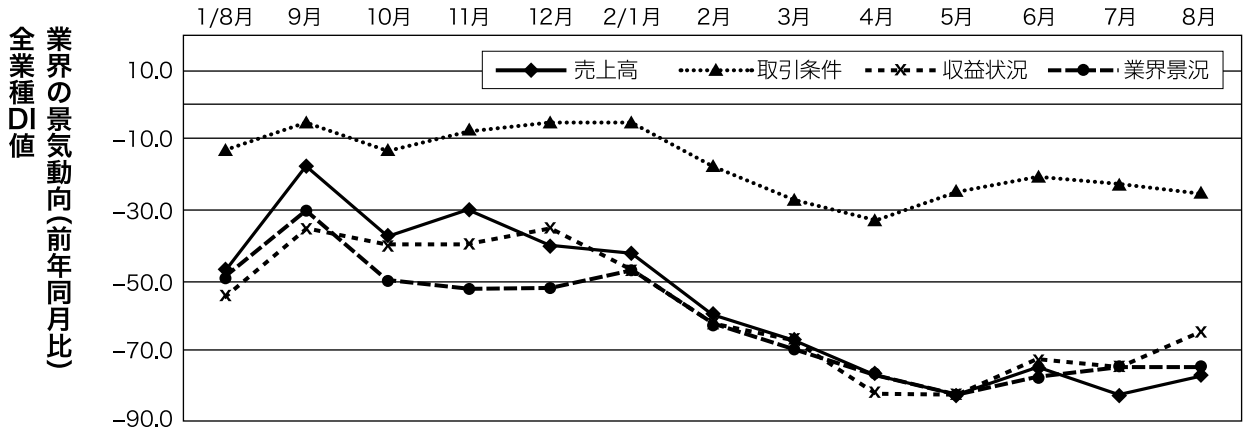




# 業界の今

情報連絡員報告より  
8月の業界の動き

## ◆ 令和2年8月度 情報連絡員報告 ◆



	1/8月	9月	10月	11月	12月	2/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	増減
売上高	-47.5	-17.5	-37.5	-30.0	-40.0	-42.5	-60.0	-67.5	-77.5	-82.5	-75.0	-82.5	-77.5	5.0
取引条件	-12.5	-5.0	-12.5	-7.5	-5.0	-5.0	-17.5	-27.5	-32.5	-25.0	-20.0	-22.5	-25.0	-2.5
収益状況	-55.0	-35.0	-40.0	-40.0	-35.0	-47.5	-62.5	-67.5	-82.5	-82.5	-72.5	-75.0	-65.0	10.0
業界景況	-50.0	-30.0	-50.0	-52.5	-52.5	-47.5	-62.5	-70.0	-77.5	-82.5	-77.5	-75.0	-75.0	0.0

**概要** 令和2年8月の前年同月比DI値の推移は、「収益状況」が10.0ポイント、「売上高」が5.0ポイント上昇し、「業界景況」が変わらずとなったが、前年同月比DI値は、依然として「売上高」が-77.5ポイント、「業界景況」が-75.0ポイント、「収益状況」が-65.0ポイントと低水準が続いている。

新型コロナウイルス感染症の影響による景況の悪化は底打ち感があるものの、依然需要の減少が続いており、一部業界においては遅れて影響が出てきているところもあり、製造業・非製造業問わず全体的に深刻な状況が続いているため、早期回復に向けた思いきった経済対策が引き続き必要がある。

**7月にピークを迎えていたといわれているが、経済にはそんな感じはなく、厳しい状態が続いている。(一般機器)**

	集計上の分類業種	業種詳細・地域	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	豆腐	8月も新型コロナウイルスの影響で外食産業への食材(豆腐油揚げ)の納品は減少したままである。
	繊維工業	衣料縫製	少しずつ戻りつつあるが、まだ現状復帰とはいかない。早く新型コロナウイルスの収束を願うばかりである。
	一般機器	伊勢	新型コロナウイルスの感染拡大は7月にピークを迎えていたといわれているが、経済にはそんな感じはなく、厳しい状態が続いている。年内は今の感じで進むと思う。
非製造業	小売業	電器	8月は、梅雨明けが遅く暑い日が続くも前半はエアコンを中心とした季節商品の販売が苦戦傾向であった。中旬以降の暑さで販売は持ち直し気味になってきたが、前年をクリアすることは出来なかった。ただし、前年は消費税アップ前の駆け込み需要が始まっており単純に比較することは難しい。新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きく、4月からの累計では2桁に近いダウンである。また、酷暑の中の作業で販売店の体力も限界に近い状況であり、暑さが販売に比例していない。在庫面では、エアコンを中心に改善方向である。ただし、メーカー間で格差はあるが品薄・品切れの商品もある。
		石油	8月の中東原油価格は前月同様40ドル台で落ち着いているが、元売り価格は上昇気味であり店頭看板価もじわじわと上昇している。ガソリン等の販売量は前月と同じく新型コロナウイルス発生前の70%台で推移している。これから秋の行楽シーズンに入り、GoToトラベルキャンペーンによる旅行からのガソリン消費が全体消費の牽引役となることを期待する。
	建設業	内装工事業	新型コロナウイルス感染症の影響がでてきたのか、8月は対前年同月比で大幅な減少となった。建設業界もほとんどの建設受注が減少または契約の延期が増える中、年間計画は見通せない状況である。